隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区南森町2－3－30
郵便番号　530－0054
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756-4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リブラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡
© 食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

# 「デュワーズ」家業両面で発信

## バカルディ×サッポロ

## 樽詰ＨＢで認知向上図る

バカルディジャパンとサッポロビールはハイボールの起源との説もあるスコッチウイスキーブランド「デュワーズ」で9月から新商品を投入するとともに10月から樽詰ハイボールも展開、裾野を広げることでブランド価値向上と拡販を狙う。

17年国内ウイスキー市場は12年比1・65倍、特にスコッチは過去5年の平均成長率が16・4%増となるなど好調に推移している。バカルディ商品は12年の両社業務提携から約2倍と伸長。今年は57万8千函を見込む。

特に今年の「デュワーズ」は20万函を見込んでおり、提携後6年で約13倍と飛躍的な成長を遂げることになる。昨年のスコッチ市場は前年比132・2%だったのに対して「デュワーズ」は157・6%。国内スコッチブランド第5位にランクインし、今年は443・6%、第3位を見込む。

今後は広告宣伝戦略を積極的に進め、日本では初となる大型広告としてTVCMとデジタル広告を投入。名誉アンバサダーに酒向明浩氏＝写真＝を招聘する。

現在の家庭用と業務用の比率はおおむね3：7だが、22年45万函の目標達成に向けて家庭用の販売数量増も目指し、炭酸水とのセット提案などでカバー率を拡大するなどの戦略をとる。また家庭用戦略商品として9月19日にはハイボールに適しているという小容量「デュワーズ　ホワイト・ラベル200㎖」を発売した。

業務用では22年までに「デュワーズハイボール」取扱飲食店を643・6%、第3位を見込む。

今後は広告宣伝戦略を積極的に進め、人手不足を背景に、提供の速さを特徴としたプレミアム戦略としてホテルなどハイエンドの販路での露出増を図るとともに10月10日から「デュワーズ25年750㎖」を販売。

20～30代の売上比率が高いことから若年層をターゲットとし、「今風のユーモア、遊び心を前面に出して差別化する」（前田章子バカルディジャパン社長）といい、認知度が低いことからかえって「新しいブランドとして認知」（島田淳サッポロビールスピリッツ事業部長）されることを期待する。

サッポロビールの宮石徹営業本部長は「バランスの良い味、ハイボールの起源といったことをアピールしたい」と話し、「樽詰ハイボールで裾野が広がり、認知を上げながら取扱店が増えるだろう」と見通しを語る。

市場ではウイスキーハイボール缶の投入が相次いだが、デュワーズについて宮石本部長は「具体的な予定はないが、将来の選択肢の一つ」と述べている。

# 業界関係者ら受章

## 秋の褒章　多年の功労称える

政府は平成30年秋の褒章受章者を発表した。本紙関係の受章者は次の通り（敬称略／順不同）。

**農林水産省関係**

黄綬褒章＝青木督平（大塚もち加工センター元代表取締役）、根岸榮治（ねぎしフードサービス社長）、西村欣祐（西村清月堂代表取締役）▽藍綬褒章＝吉田康（プルボン社長、全国ビスケット協会副会長）、林賀代子（＝香与子、マルハ物産会長、日本惣菜協会副会長）

根岸氏

吉田氏

**経済産業省関係**

黄綬褒章＝不老安正（かさの家代表取締役）、山本洋志（アサヒ装設社長）

林氏

**財務省関係**

黄綬褒章＝前田壽男（賀茂泉酒造代表取締役）、松田亮（ヘリオス酒造社長）、浅野潤（＝純史、秋田屋社長）、上村政二（和泉屋本店専務）、北山貢（丹波屋代表取締役）、福嶋貢（山二男澤商店代表社員）、平野保夫（杜氏）▽藍綬褒章＝小澤順一郎（小澤酒造社長、東京都酒造組合連合会会長）、渡邊眞一郎（京屋酒造代表取締役）、宮崎県酒造組合会長）、川瀬成人（川瀬酒販社長、福島県小売酒販組合連合会会長）、進藤正明（山梨県小売酒販組合連合会元会長）、永井民夫（群馬県小売酒販組合連合会会長）、中村隆光（千葉県小売酒販組合連合会会長）、深田栄（鳥取県小売酒販組合連合会会長）、福井芳郎（滋賀県小売酒販組合連合会元会長）、水元義則（福井酒販社長、福井県小売酒販組合連合会元会長）、八木栄壽（八千代伝酒造社長、福井県小売酒販組合連合会会長）

浅野氏

**厚生労働省関係**

黄綬褒章＝入口修三（四季の味華晄総料理長）、大河原実（水月ホテル鷗外荘執行役員）、上柿元勝（オフィス・カミーユ代表取締役）、川名譲治（川敬酒造代表取締役）、小谷明宏（ホテルニューオウミ和食料理長）、齋藤隆（庄内食肉公社管理部長）、清水利仲（両口屋菓匠取締役顧問）、上田忠幸（レクスト関西総合会館総料理長）、山口浩（神戸北野ホテル総支配人・総料理長）、横田秀夫（菓子工房オークウッド代表取締役）▽藍綬褒章＝田村眞（埼玉県喫茶飲食生活衛生同業組合理事長）

# アピ　がん研と共同開発プロジェクト

## 今年度ACT―Mに採択

アピ（岐阜県岐阜市、野々垣孝彦社長）は、公益財団法人がん研究会（東京都江東区、馬田一理事長）と共同開発で取り組んでいた、がん細胞の増殖や転移を阻害する抗体医薬品開発プロジェクトが国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下AMED）の平成30年度「『産学連携医療イノベーション創出プログラム』基本スキーム（ACT―M）」に採択されたことを発表した。

採択された課題名は「希少がん標的型のポトプラニン抗体薬実用化」。アピは、がん研究会が開発した中和抗体をベースに抗体医薬品の製造技術開発を、がん研究会が臨床検体等を用いた抗体医薬品の薬理評価を行い、2020年度以降には臨床試験を開始する予定。

両者は日本発、世界でも先駆的ながん転移の抑制も可能ながん治療用抗体薬の上市を目指す。

アピは蜂産品、飲料原料、健康食品の受託最大手。医薬品事業は1996年にスタート、ジェネリック医薬品、インフルエンザワクチンを受託製造している。

# 伊藤忠食品　売総額を基礎収益指標に

## 率重視の経営修正

岡本社長

「今後、当社は基礎収益力を（売上総利益の）絶対額で判断する」――伊藤忠食品の岡本均社長は10月30日、東京本社で行われた上期決算会見に臨み、新たな視点で収益力向上に取り組む考えを示した。食品卸業界では売上総利益率を基礎収益力、経常利益率を収益力とする考え方が浸透しており、岡本氏のスタンスは同業他社からも注目されそうだ。

同社の上期業績（18年4～9月）は売上高3・4%増（3千454億6千1百万円）、経常利益6・8%増（20億6千7百万円）の増収増益で着地した。猛暑特需や多発した自然災害の影響で第2四半期に物流費と庫内人件費が急騰。他のコスト削減効果を帳消しにする格好となり、販管費率は前期並みの水準（4・78%）となったが、増収に伴う売上総利益額の増加でこれをカバーし、2期連続の上期増益を保った形だ。

売上総利益率（5・26%）と販管費率がともに横這いにもかかわらず、増益基調が強まっているのは特筆に値する。有力スーパーを中心とする重点得意先の深耕や百貨店グロサリー売場の受託拡大などで売上げ停滞に歯止めがかかってきたのが大きい。

冒頭の岡本社長の発言はこうした経営環境変化の文脈の中で語られたもの。「これだけ世の中が変わっているのに、一つのレシオ（比率）だけで収益力を語るのはいかがなものかと思う。今後は（売上総利益の）絶対額をわれわれの基礎収益力とし、その向上に向け、ある場面では売上げを拡大し、ある場面では独自の機能で付加価値を上げていく」。

売上総利益率は食品卸にとって最も分かりやすい収益指標だが、天候などの他動的要因に左右されやすい面もある。特に今夏は記録的な猛暑の影響で収益性の低い飲料が活発に動いたことから、常温品に関しては業界全体で売上総利益率を落とした可能性がある。これを基礎収益力の低下と断定するのはやや拙速だ。絶対額を重視する岡本社長の主張には説得力があり、今後の卸各社の業績発表のあり方などに影響を与えていくことが予想される。

# 「本格焼酎の日」に先駆け　福岡・博多でイベント

## 九州の酒造メーカー26社

九州エリアの酒造メーカー26社は「本格焼酎の日」（11日1日）に先駆け、10月27と28の2日間、福岡市の「ベイサイドプレイス博多」特設会場で本格焼酎を訴求する共同イベントを開催した。

今回で5回目となる同イベントは、協賛26社の焼酎銘柄を1杯200円で堪能でき、さらにお楽しみ抽選会では空くじなしで酒造メーカーからの景品が当たる特典付き。会場では協賛焼酎メーカー自慢の主力商品をとことん味わえる場として、大変ご好評いただいている。食欲の秋に添えていただけるよう各社が自慢の商品を取り揃えた。私どもの商品を知っていただける場として今後も共同イベントを行っていきたい」と意気込みをみせていた。協賛酒造メーカーとイベント商品は次の通り。

▽壱岐の蔵酒造「壱岐の島」▽壱岐の華「初代嘉助」▽出水酒造販社「出水に舞姫」▽雲海酒造「木挽BLUE」▽大口酒造「黒伊佐錦」▽大島酒造「529：ゴーニーキュー」▽神楽酒造「長期貯蔵くろうま」▽京屋酒造「かね京黒」▽霧島酒造「黒霧島EX」▽玄海酒造「壱岐スーパーゴールド22」▽小正醸造「赤猿」▽さつま無双「かたじけない」▽薩摩酒造「黒薩摩」▽繊月酒造「限定川辺」▽高橋酒造「肥後時習館」▽高千穂酒造「高千穂零」▽奄美大島にしかわ酒造「島のナポレオン」▽濱田酒造「だいやめ～DAIYAME～」▽房の露「倉岳」▽紅乙女酒造「こま祥酒紅乙女」▽本坊酒造「あらわざ桜島」▽光武酒造場「焼き芋焼酎魔界への誘い」▽都城酒造「みやこんじょ黒」▽宗政酒造「レモングラスの香る焼酎」▽山元酒造「吉之助」▽若潮酒造「さつま黒若潮」

## 逆光線

「雨ニモマケズ　風ニモマケズ　雪ニモ夏ノ暑サニモ…」。ヤクルトレディ（YL）という言葉から思い浮かんだのは有名な詩の冒頭部分▼先日開催された「ヤクルト世界大会」に出席した。国内外で活躍する優秀なYLや関係者を表彰するとともに、世界中のグループ関係者の交流や団結を深めるべく開催されているもので、日本を含め世界38の国と地域から2千700人が参加した▼わが家がお世話になっているYLさんも雨の日も、風の日も、雪の日もわが家を訪れ、同社の製品を届けてくれる。商売と言ってしまえばそれまでだが、同大会の受賞者を代表して謝辞を述べたYLさんは「『病気しらずで笑顔の絶えない』地域を作ることが私の使命と信じ、日々精進していきます」と語っていた▼超高齢化社会下、健康寿命の延伸に向け、予防医学は今後ますます重要になってくる。ネット通販で健康食品が購入できる時代だが、巷には様々な健康情報が溢れる。それだけに、訪問販売により正確な情報と商品を届けてくれるYLの存在は今後、さらに重要になるのではないかと思った。

きょうの業界天気図
焼酎
くもり時々雨
甲乙ともに苦戦するもサワーブームなどが突破口になるか。
きょうの主な内容
6～7　焼酎特集

カメセの青のり
自然の恵みを美味に育んで、皆様にお届けしたい
青海苔専門問屋
株式会社カメセ水産
東京都江東区猿江1-4-8
TEL03-3631-2304
FAX03-3631-9067

自然を、おいしく、楽しく。
KAGOME

血圧にも、
血中コレステロールにも、
トマトジュース※1です。

※1 本品には、リコピンとGABAが含まれます。

カゴメトマトジュース　届出番号 B417　食塩無添加 720mlペットボトル、200ml紙容器
カゴメ トマトジュースのお問い合わせはこちらから。
カゴメお客様相談センター 9:00～17:00（土日祝日を除く）　0120-401-831

機能性表示食品　特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
［届出表示］本品にはリコピンとGABAが含まれます。リコピンには血中HDL（善玉）コレステロールを増やす機能が、GABAには血圧が高めの方の血圧を下げる機能があることが報告されています。血中コレステロールが気になる方や血圧が高めの方にお勧めです。
○ 疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
○ 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。